

2026 年 8 月 18 日

RC 構造設計指針(2026 年)の正誤表

(1) RC 構造設計指針(2026 年) 8.1 節の解説(5)記載の式番号

「正」

「誤」

式(4.4)

式(4.1)

上記の式番号の誤記：(付録 2)3.検討結果に記載の式番号についても同様。

(2) RC 構造設計指針(2026 年)15.7 幅広型基礎梁主筋定着を配置した柱増し打ち部の補強

解表 15.2 幅広型基礎梁主筋定着部の検定例

「正」

基礎梁 主筋	at (mm ²)	本 数	σ_{sy} (N/mm ²)	ΣT_{gy} (kN)	コ形 拘束筋	aw (mm ²)	柱幅 Bc (mm)	増打ち厚 To (mm)	本 数	間隔 xo (mm)	pwo (%)	σ_{wy} (N/mm ²)	ΣT_{wy} (kN)	ΣT_{wy} / ΣT_{gy}	判 定
2-D38	1140	2	390	889	D13	127	1000	200	9	100	0.64%	345	394	0.44	OK

$\Sigma T_{gy}=at \times \text{本数} \times \sigma_{sy}$ 、 σ_{sy} ：規格降伏点、 $L_{go}=D_c-100$ ：基礎梁主筋定着部範囲、コ形拘束筋間隔 $x_o=L_{go}/(\text{本数}-1)$

$\Sigma T_{wy}=\text{本数} \times aw \times \sigma_{wy}$ 、 σ_{wy} ：規格降伏点、 $\Sigma T_{wy}/\Sigma T_{gy} \geq 0.4$ かつ $p_{wo} \geq 0.2\%$ かつ $x_o \leq 200\text{mm}$ の(判定)“OK”、 $p_{wo}=aw/(B_c \cdot x_o)$

「誤」

基礎梁 主筋	at (mm ²)	本 数	σ_{sy} (N/mm ²)	ΣT_{gy} (kN)	コ形 拘束筋	aw (mm ²)	柱幅 Bc (mm)	増打ち厚 To (mm)	本 数	間隔 xo (mm)	pwo (%)	σ_{wy} (N/mm ²)	ΣT_{wy} (kN)	ΣT_{wy} / ΣT_{gy}	判 定
2-D38	1140	2	390	889	5-D13	127	1000	200	9	100	0.64%	345	394	0.44	OK

$\Sigma T_{gy}=at \times \text{本数} \times \sigma_{sy}$ 、 σ_{sy} ：規格降伏点、 $L_{go}=B_c-100$ ：基礎梁主筋定着部範囲、コ形拘束筋間隔 $x_o=L_{go}/(\text{本数}-1)$

$\Sigma T_{wy}=aw \times \sigma_{wy}$ 、 σ_{wy} ：規格降伏点、 $\Sigma T_{wy}/\Sigma T_{gy} \geq 0.4$ かつ $p_{wo} \geq 0.2\%$ かつ $x_o \leq 200\text{mm}$ の(判定)“OK”、 $p_{wo}=aw/(B_c \cdot x_o)$